

# 外部検証委員会（産業分野）次第

日時 令和3年8月23日（月）午後1時30分から  
場所 益子町役場2階大会議室

- 1 開会
- 2 出席者紹介
- 3 配布資料の確認
- 4 案件
  - (1) 地方創生関連事業に関する実績検証
  - (2) 概要説明（産業建設部長）
  - (3) 施策ごとの検証（シート每ではなく、各施策・複数課のシートに渡り質疑）
  - (4) その他
- 5 閉会

## 外部検証・意見シートの提出について

既にお配りしている「様式2 外部検証・意見シート」につきまして、本委員会終了後10日を目安に、返信用封筒をご利用いただきご回答をお願いします。

新ましこ未来計画外部検証委員会（産業分野）議事録

日時	令和3年8月23日(月) 13:30~15:15	
場所	役場 大会議室	
出席者	委員	佐久間委員、鈴木委員、萩原委員、宮崎委員
	職員	池田産業建設部長、大塚農政課長、福田観光商工課長
	事務局	佐藤係長、横堀主事
配布資料	次第、地方創生関連事業に関する実績検証資料、推進状況総括シート、推進シート	

発言者	発言要旨
事務局	<p><b>1. 開会</b></p> <p><b>2. 出席者紹介</b></p> <p><b>3. 配布資料確認</b></p> <p><b>4. 案件</b></p> <p><b>(1) 地方創生関連事業に関する実績検証</b></p> <p>実績検証資料により説明</p>
委員	ポイントカードの利用率はどのくらいか。
観光商工課長	<p>保有状況は、町民は約15000人、町外が約7000人。</p> <p>利用の状況等は、現在運用システムに会員情報の登録作業中で、10月にはあらかじめ登録作業を終える予定。利用状況の分析や加盟店へのフィードバックはそれから着手となる。</p>
委員	今後の事業を進める上では、新型コロナウイルス感染症はなくなれないという前提で見なければならぬ。コロナ前と同じように事業ができるようになるのかわからない。知見を持った人を呼び、意見を聞きながら、今後の事業の取り組み方を考える必要があるのでは。
委員	各種イベントへの来客数や、新規就農者の数などがどのように推移していくかが読めない状況であり、今後の事業については、専門家などの意見を聞きながら進めていくべきだと思う。
産業建設部長	今後のイベントの在り方は一度検証をすることが必要だと思う。
事務局	KPI や計画の具体的取組内容については、毎年見直しを行ってきたところであるが、昨年は計画最終年度ということから、コロナの影響はあったものの見直しを行わなかった。次期計画である第3期ましこ未来計画は既に策定済みであるが、今回の検証結果やコロナの影響をPDCAサイクルの中でKPI等に反映していく予定である。

委員	事業の評価として継続としたものは、予算規模も同じく続けていくのか。
事務局	あくまで事業内容を継続するというもので、予算規模は事業の詳細に応じて変わることになる。
委員	DMO については、本来はマネジメントする立場となる筈だが、現在は事業を直接行うプレーヤーの立場で止まっている。EC サイトの立ち上げについても、1 から始めようとしているが、道の駅において類似の取組をしており、重複している部分がある。DMO はもっと俯瞰的に全体を見ながら効率よく進めていけるようマネジメントを行う必要がある。今後の組織としての在り方を一度見直すべきではないか。今のままではまだ目標とする形に至っていない。
産業建設部長	DMO については、今後自走していかなければならないため、収益を上げるための財源を確保していく必要がある。
委員	収益の上げ方についても、事業収益という手法のほかに、加入団体から会費をとるやり方もある。数年後に自走していくことだけを目標としてしまえば、プレーヤーの立場で終わってしまう。
産業建設部長	DMO が発足して半年経つが、既に職員が2人抜けており、当初の計画通り事業が進められていない。今は目の前の事業を遂行することで手一杯な状況となっている。
観光商工課長	観光戦略の本来の目的としては、事業の整理や合理化があるが、DMO を立ち上げることに目が行き過ぎた結果、事業整理が完了しないまま DMO が立ち上がってしまった。現在、各団体と事業整理を進めており、作業が進み事業の重複がなくなっていけばご意見にあるような動きができると思う。しかしながら、現在はふるさと納税の対応もあり、年内は手一杯となっている。
委員	年が明けて一段落ついたら、今後の取組方についてよく考えたほうがいい。
産業建設部長	<p><b>(2) 概要説明</b></p> <p>総括シートにより説明</p>
委員	<p><b>(3) 施策ごとの検証</b></p> <p><u>○P. 32 施策1 農業生産体制の整備</u></p> <p><u>○P. 34 施策2 地域農産物の販路開拓</u></p> <p>益子の道の駅は、ほかの道の駅よりも利用者が多いように見える。また、コロナ禍にあっても安定して人が入るとするのは珍しいのではないかと。</p>

産業建設部長	観光地と連携した道の駅は苦戦しているようである。益子は観光バスというよりマイカーが割合として多い。
委員	新規就農者は増えているが、町内総生産は上がっていない。就農者が増えれば良いということではなく、町内総生産の増加に寄与するような農家育成が必要なのではないか。
農政課長	理想とするところは就農者の増加と町内総生産の増加が結びつくことであるが、まずは国の課題でもある就農者を増やすことが大切で、その後フォローアップにより収益を増やしていけるようにしていきたいと考えている。
委員	新規就農者には、年に2回ほど町内の農業従事者からアドバイスを受けられる機会を設けており、自立して農業を営めるようサポートをしている。
	<p><u>○P. 36 施策1 商店の活性化と起業支援の充実</u></p> <p><u>○P. 37 施策2 ものづくりの育成・支援</u></p> <p><u>○P. 38 施策3 「世界一」人が集う焼きものの町づくり</u></p>
委員	ブランド商品認定数が0であるが、3年前から認定団体の立ち上げが始まって、未だに団体の骨組みも固まっていない。3年でそれすらできないのであれば、廃止してしまってもよいのではないか。
事務局	次期計画の策定に当たっては、進捗状況や皆様からの意見を踏まえ、計画に位置付けた取組からは除外することとした。
委員	自分が取引している都心の飲食店において、コロナの影響により営業が続けられなくなった店が続出している。その人たちは、地方に移転して店を開いているようである。益子でも今後受け入れるチャンスがあるのではないか。
事務局	移住相談窓口でも起業や就農希望の方が相談に来ることが増えている。関係各課と連携し、移住につながるよう努めていきたい。
委員	町の起業補助制度についても、補助要件を緩和する等の見直しを行ってはどうか。
委員	コロナの影響で益子焼とその原料の購入客数が激減している。道の駅は盛況のようであるが、そのお客さんを城内や道祖土など他の地区にも回してもらえるような仕組みがあると良い。課題である販路拡大については、他団体との情報共有を密にしていければ、今よりも効率的に行えると思う。東京ばかり目を向けているが、東北にも市場開拓の余地があると考えている。出張出展の経費の援助も検討して欲しい。また、現在は小売店も仕入れ数が減っており、作家本人が販売もする必要が出

委員	<p>できている。販売ノウハウもないため、どう動けばいいかわからない人も多い。そこに手助けができる仕組みがあれば良い。</p> <p><u>○P. 39 施策4 就労支援と雇用創出</u></p> <p><u>○P. 40 施策1 観光客誘客の拡大</u></p> <p><u>○P. 42 施策2 外国人観光客（インバウンド）の誘客</u></p> <p>今後、コロナの感染拡大がいつまで続くのか、また、ワクチンの接種がいつごろ完了するのか、再び旅行補助事業が実施されるのか等、様々な要素が影響しており、今後が読めない状況にある。コロナウィルスの専門家と、人の心理や行動の専門家の話が聞けるとありがたい。</p>
観光商工課長	<p>コロナ禍での商法について、専門家を招いてセミナーの実施を検討している。今後も、コロナはおそらく0にはならない。どのくらいの感染率で推移していくのか、どのくらいの感染状況であれば落ち着いたとみなすのかが見えてくれば、今後の取り組むべき方向性が掴めてくると考えている。</p> <p><b>(3) その他</b></p> <p>外部検証・意見シートは10日程度を目安にご提出をお願いしたい。</p> <p><b>5. 閉会</b></p>